

4 区の情報発信のあり方

-
- (1) 区の情報入手手段
 - (2) 重要と考える区の情報
 - (3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況
 - (4) 区情報が得られない理由
 - (5) 区情報が得られない理由の詳細
-

4 区の情報発信のあり方

(1) 区の情報入手手段

■「あだち広報」が7割弱で首位、「ときめき」や「区のホームページ」などが3割前後で続く

問14 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか

(○はあてはまるものすべて)。

図4-1-1-1-① 経年比較/区の情報入手手段

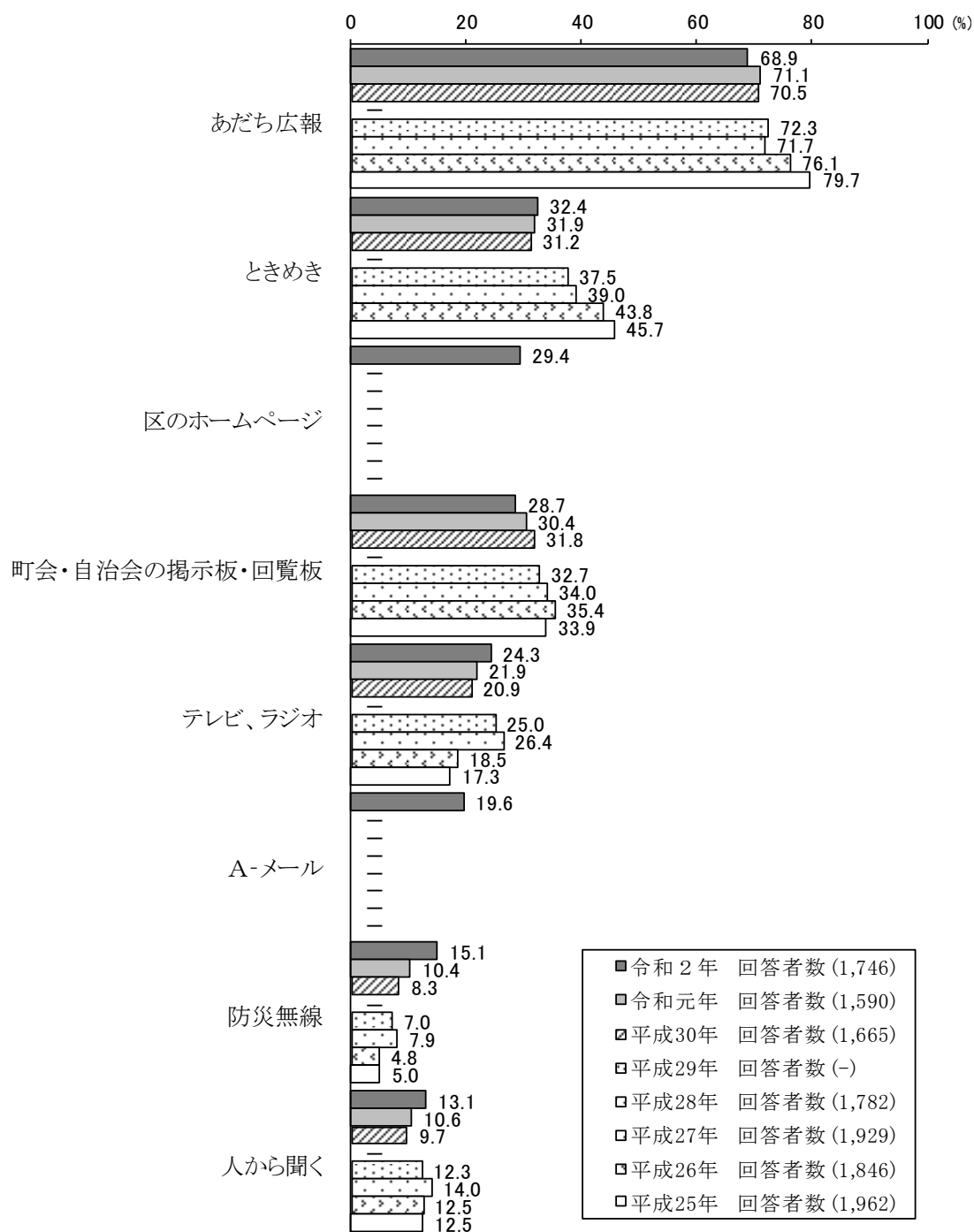
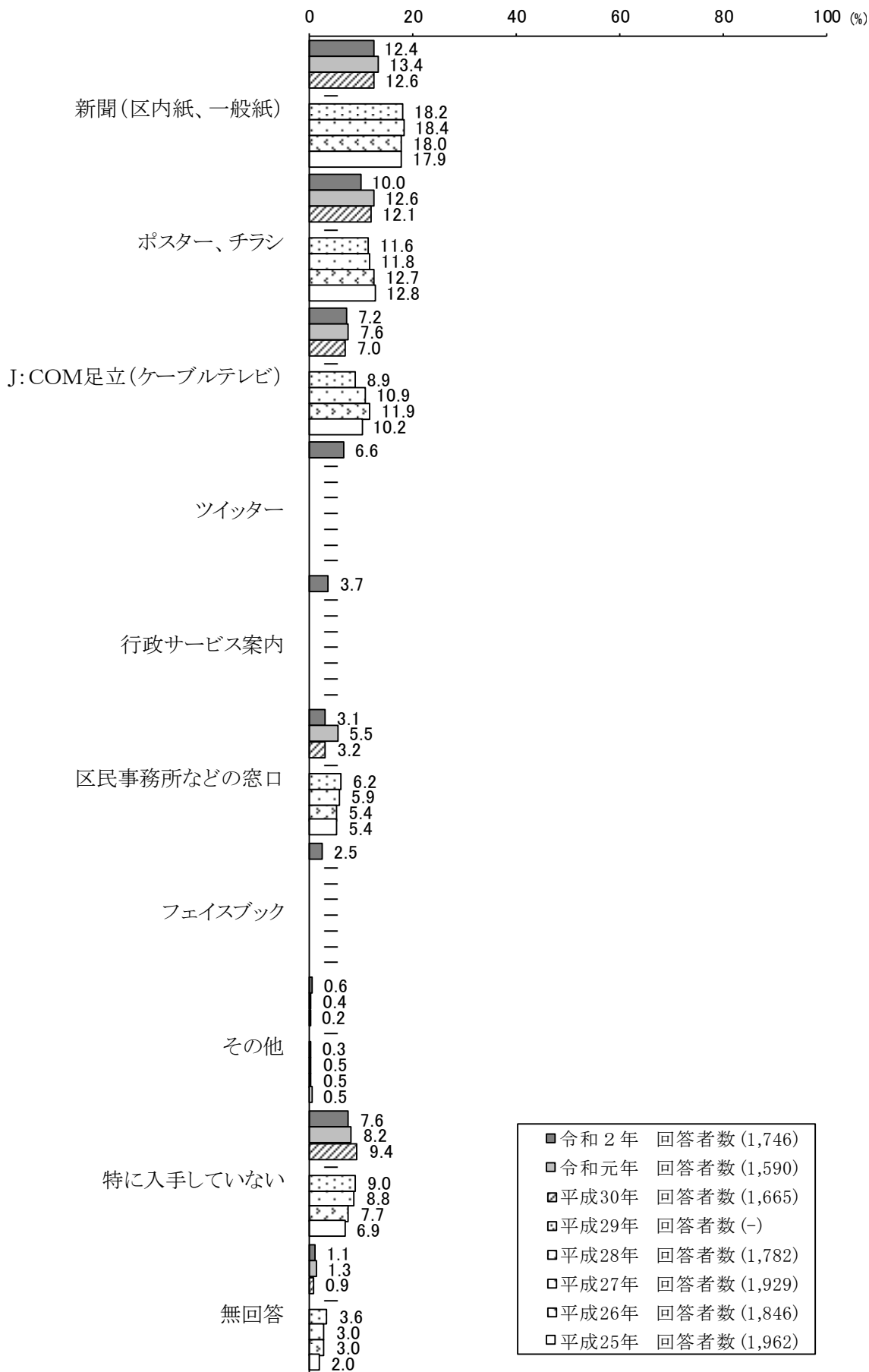


図4-1-1-1-② 経年比較／区の情報入手手段



- ※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 前年度まで「インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）」の単独1項目で測定していたものを、令和2年度よりそれぞれの4項目に細分化して聴取した。

足立区に関する情報の入手媒体としては、「あだち広報」が68.9%で最も高く、以下「ときめき」（32.4%）、前回までの「インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）」から細分化された「区のホームページ」（29.4%）、「町会・自治会掲示板・回覧板」（28.7%）の3項目が3割弱で並んで上位となっている。

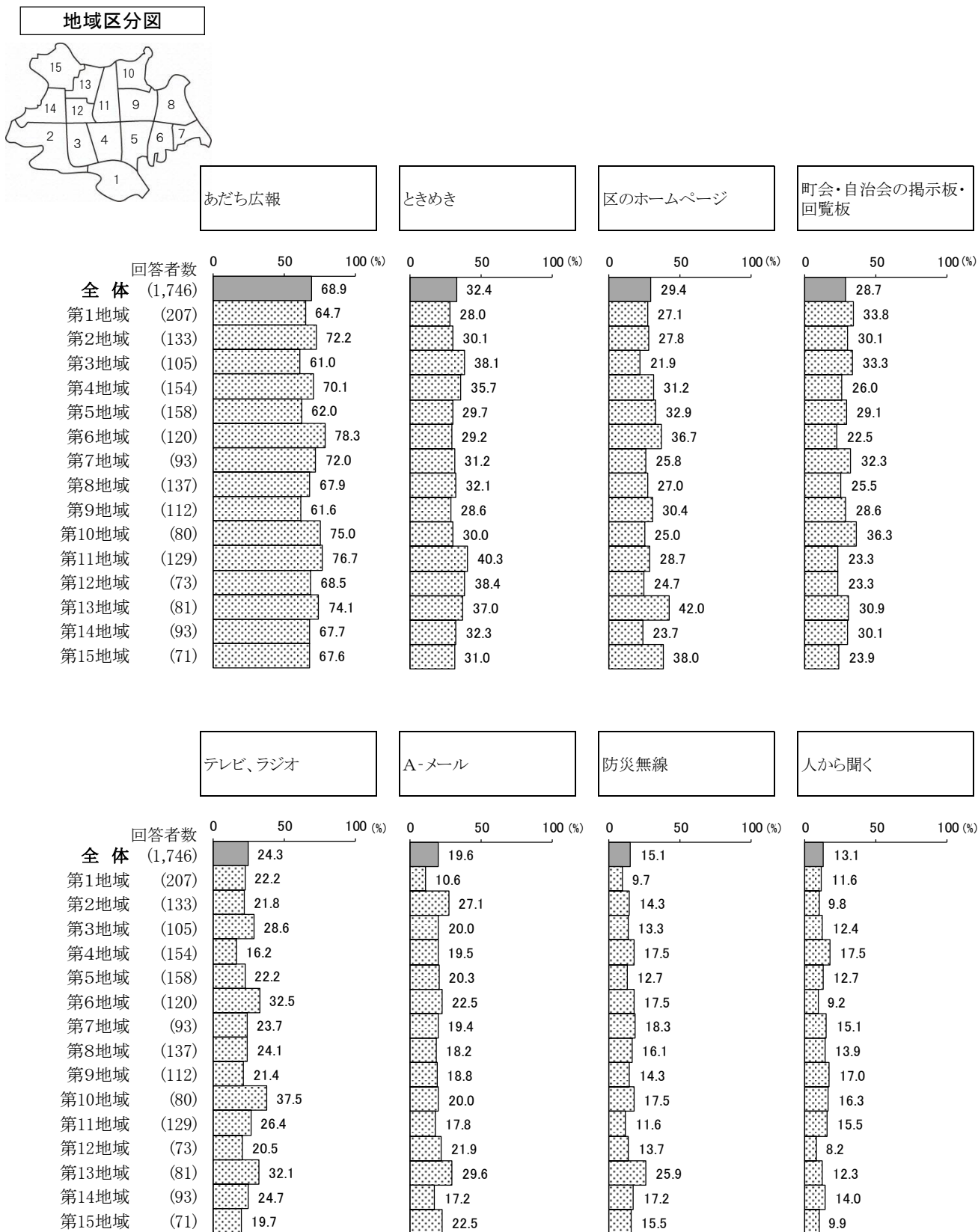
なお、前回までの「インターネット（区のホームページ、A-メール、ツイッター、フェイスブック）」から細分化された各項目への反応は、上記の「区のホームページ」（29.4%）に続き、「A-メール」（19.6%）が約2割、「ツイッター」（6.6%）と「フェイスブック」（2.5%）はともに1割未満となっている。

経年でみると、「あだち広報」は平成27年調査以降ほぼ横ばいながら、今回は前回令和元年より2.2ポイント減少し、今回2位の「ときめき」もここ3年間は横ばいで、4位の「町会・自治会掲示板・回覧板」も平成26年以降漸減・横ばい傾向にある。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

地域別でみると、「あだち広報」は第6地域で8割弱、「ときめき」は第11地域で4割、「区のホームページ」は第13地域で4割強、「町会・自治会の掲示板・回覧板」は第10地域で3割台半ばと、それぞれ最も高くなっているが、上位項目に目立って大きな違いはみられない。

図4-1-2 地域別／区の情報入手手段／上位8項目

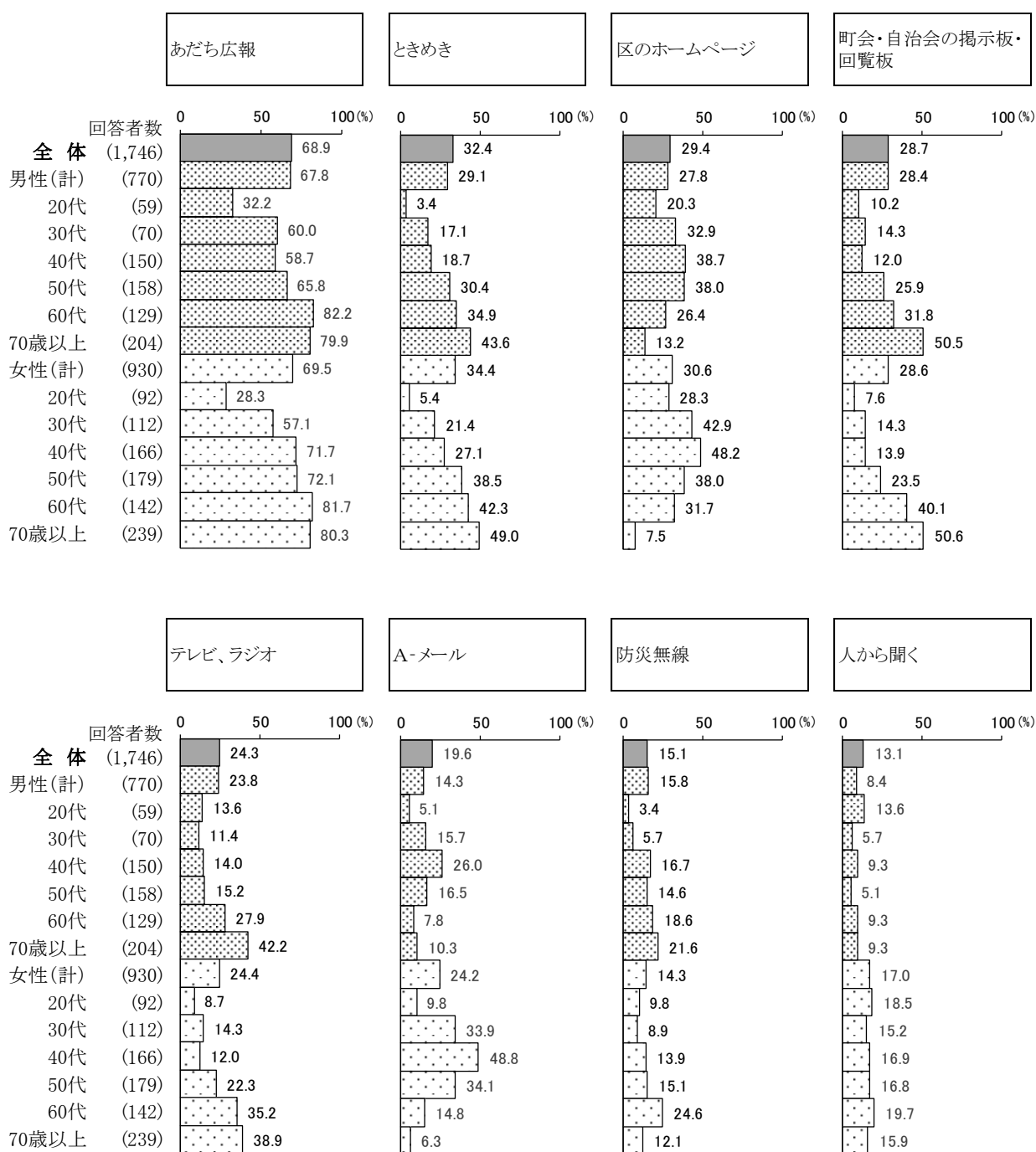


性別で見ると、「A-メール」と「人から聞く」で女性の方が約10ポイント高いのを除くと、大きな男女差はみられない。

性・年代別で見ると、男性では、60代と70歳以上の両層で「あだち広報」「ときめき」「町会・自治体の掲示板・回覧板」「テレビ・ラジオ」のいずれもが他の年代層より高いが、「区のホームページ」は40代と50代が4割弱と高くなっている。

女性の場合も、男性と同様に、「あだち広報」「ときめき」「町会・自治体の掲示板・回覧板」「テレビ・ラジオ」はそれぞれ加齢とともに高まる傾向を示している。一方、「区のホームページ」と「A-メール」は40代とともに5割弱ととくに高くなっている。

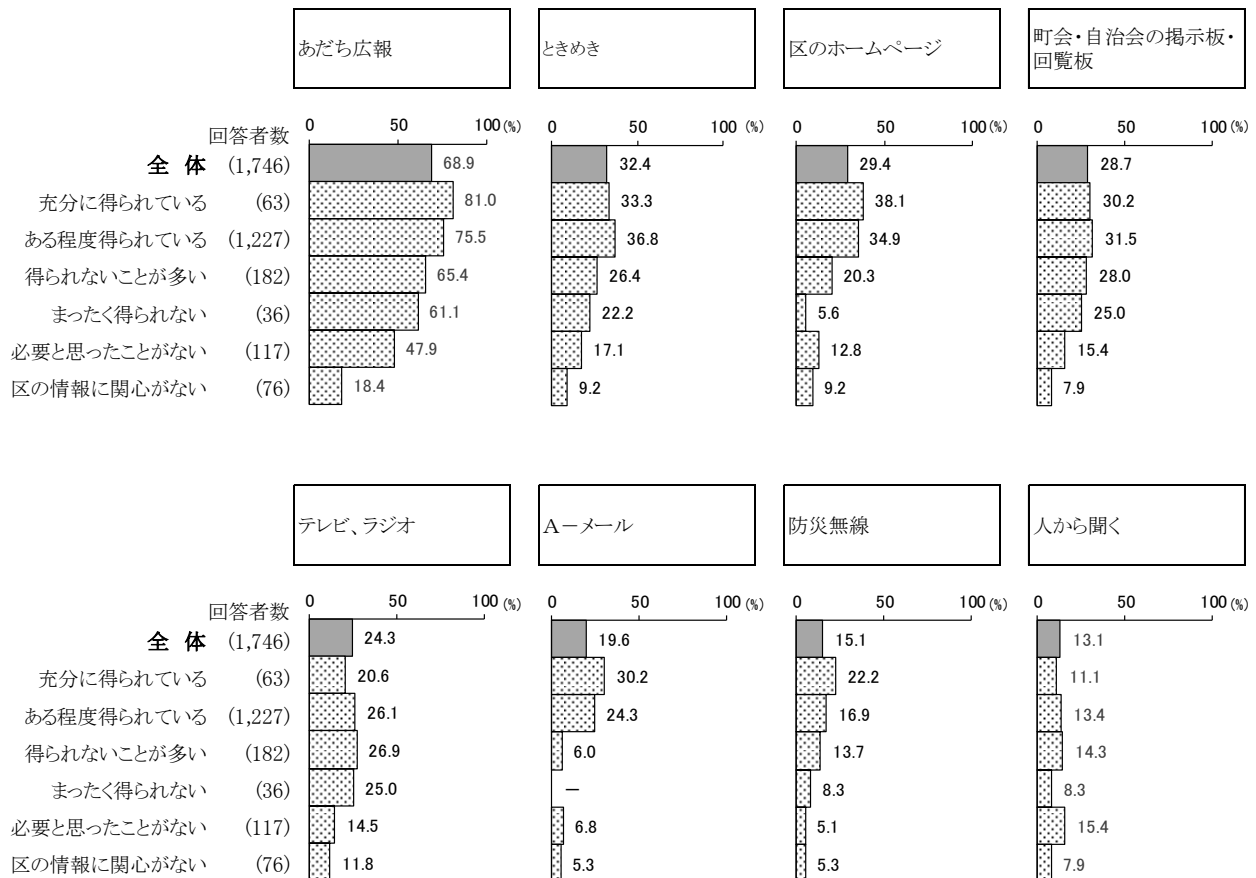
図4-1-3 性別、性・年代別／区の情報入手手段／上位8項目



第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

必要な時に必要とする区の情報入手状況別にみると、上位の「あだち広報」「ときめき」「区のホームページ」「町会・自治体の掲示板・回覧板」などの多くの項目で、情報が得られている層ほどそれぞれの割合も高まる傾向を示している。

図4-1-4 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／区の情報入手手段／上位8項目



(2) 重要と考える区の情報

■ “災害や気象”と“健康や福祉”がともに6割台前半で上位

問15 あなたは、区が発信するどのような情報が重要だと考えていますか
(〇はあてはまるものすべて)。

図4-2-1-① 経年比較／重要と考える区の情報

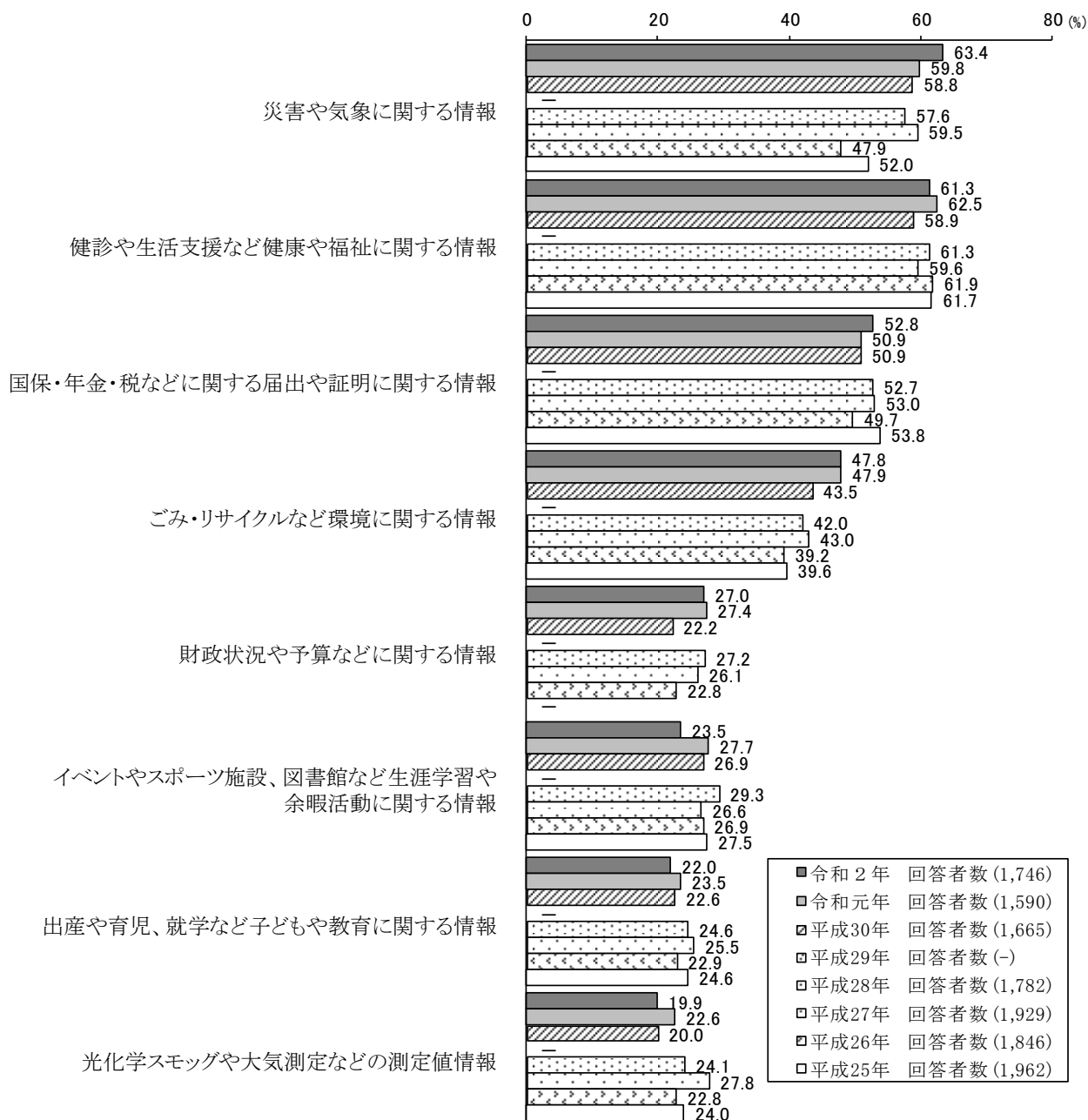
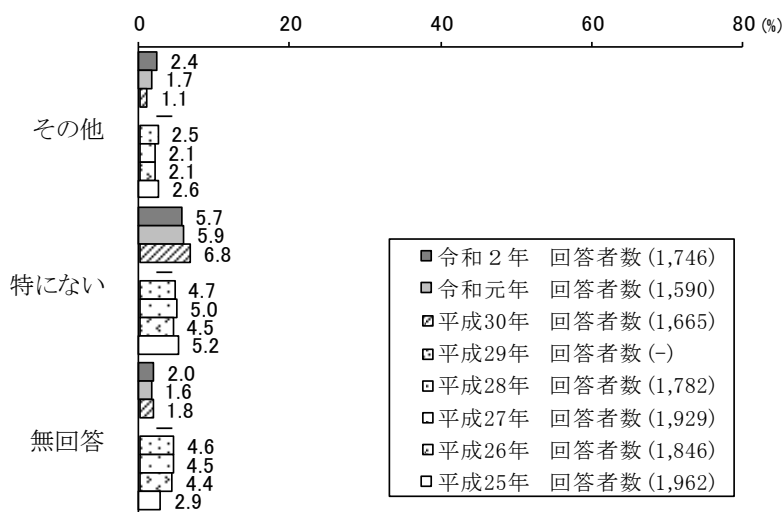


図4-2-1-② 経年比較／重要と考える区の情報



- ※ 本設問は、前回令和元年まで「どのような情報が必要だと思いますか」という設問文で聴取していたが、今回の令和2年調査から「どのような情報が重要だと考えていますか」という設問文にかえた。
- ※ 本設問は、平成25年度以降聴取しているが、平成29年度では聴取していない。
- ※ 「財政状況や予算などに関する情報」は、平成26年度新設。

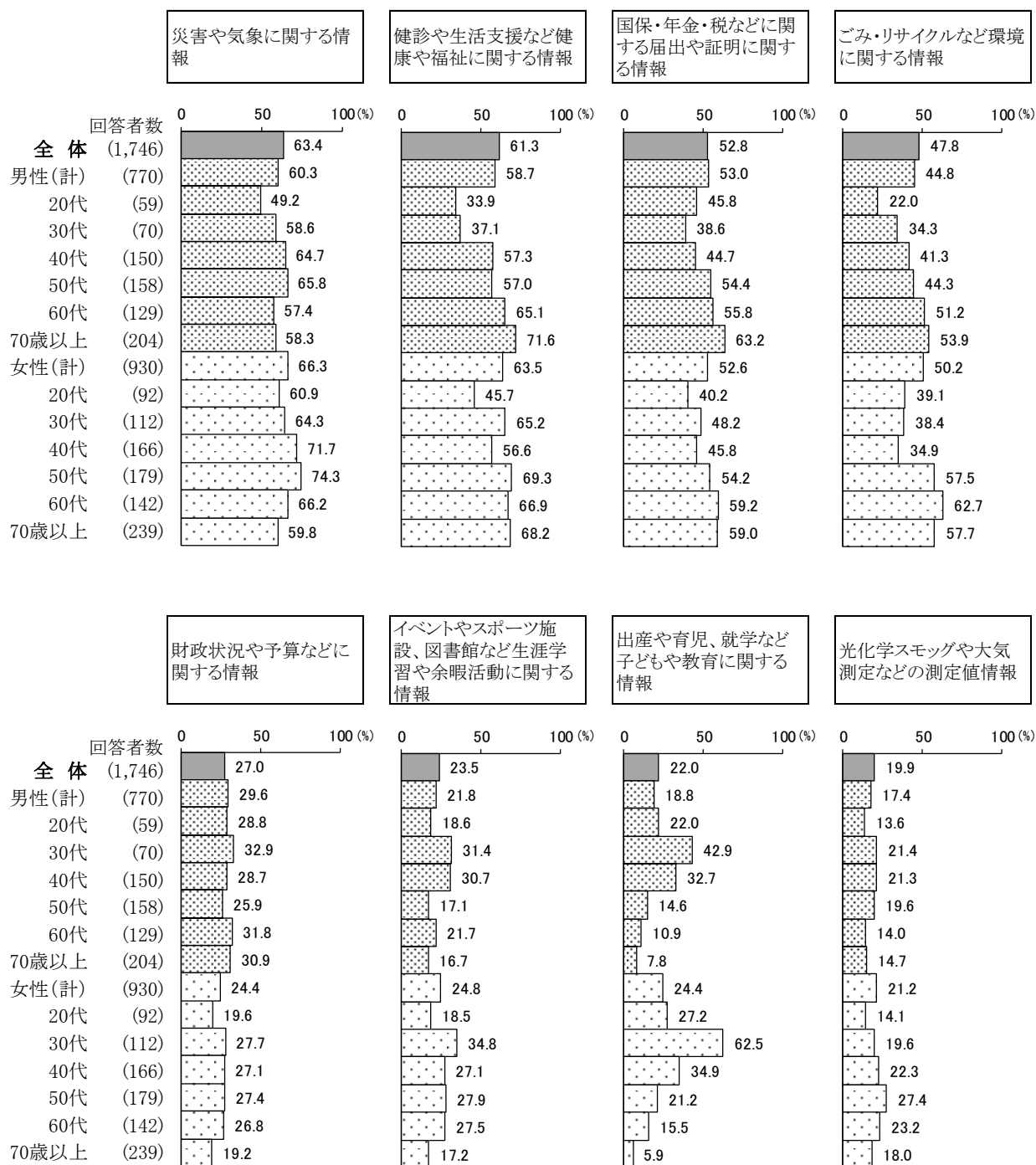
前回までの“必要だと思う”から今回より“重要だと考える”に質問文を変更した、重要と考える区の情報としては、「災害や気象に関する情報」(63.4%)が6割台半ばで最も高く、「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」(61.3%)が6割強で続き次点に入る。以下「国保・年金・税などに関する届出や証明に関する情報」(52.8%)、「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」(47.8%)の順で続いて上位となっている。

経年でみると、質問文に変更があったことに留意する必要があるが、上位項目について、比率に大きな変動はみられず、中では、前回2位だった「災害や気象に関する情報」が前回より3.6ポイント増加して、前回より1.2ポイント減の「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」を上回って第1位となる動きがあった。

性別でみると、上位にある「災害や気象に関する情報」「健診や生活支援など健康や福祉に関する情報」「ごみ・リサイクルなど環境に関する情報」の3項目は、いずれも男性より女性の方が5ポイント前後高くなっている。

性・年代別でみると、男女ともに『健康や福祉』『届出や証明』『環境』の3項目は年代が高くなるにつれて比率も高まる傾向がみられ、男性ではいずれも70歳以上が最も高くなっているのに対し、女性は50代以上の3年代層が拮抗して並ぶ項目が多くなっている。一方、「出産や育児、就学など子どもや教育に関する情報」は女性30代の6割強を筆頭に男女ともに30代で他の年代に比べ高くなっている。

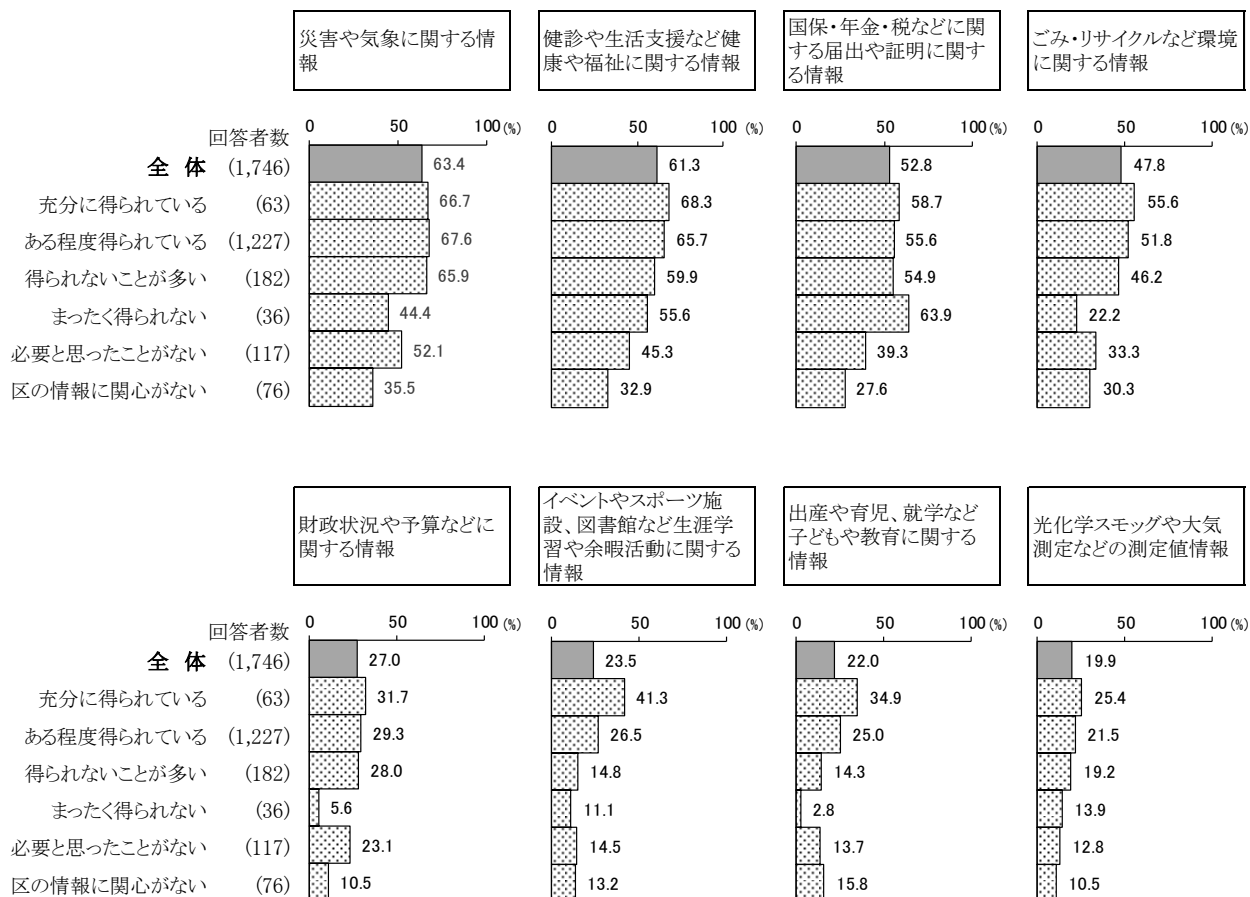
図4-2-2 性別、性・年代別／重要と考える区の情報／上位8項目



第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

必要な時に必要とする区の情報入手状況別でみると、多くの項目に亘って、〈まったく得られない〉と〈区の情報に関心がない〉という両層で比率が低くなっているのと除くと、〈十分に得られている〉から〈得られないことが多い〉の3層で大きな比率の差はみられず、区の情報入手程度による情報の重要性認識に目立って大きな違いはみられない結果となっている。

図4-2-3 必要な時に必要とする区の情報入手状況別／重要と考える区の情報／上位8項目

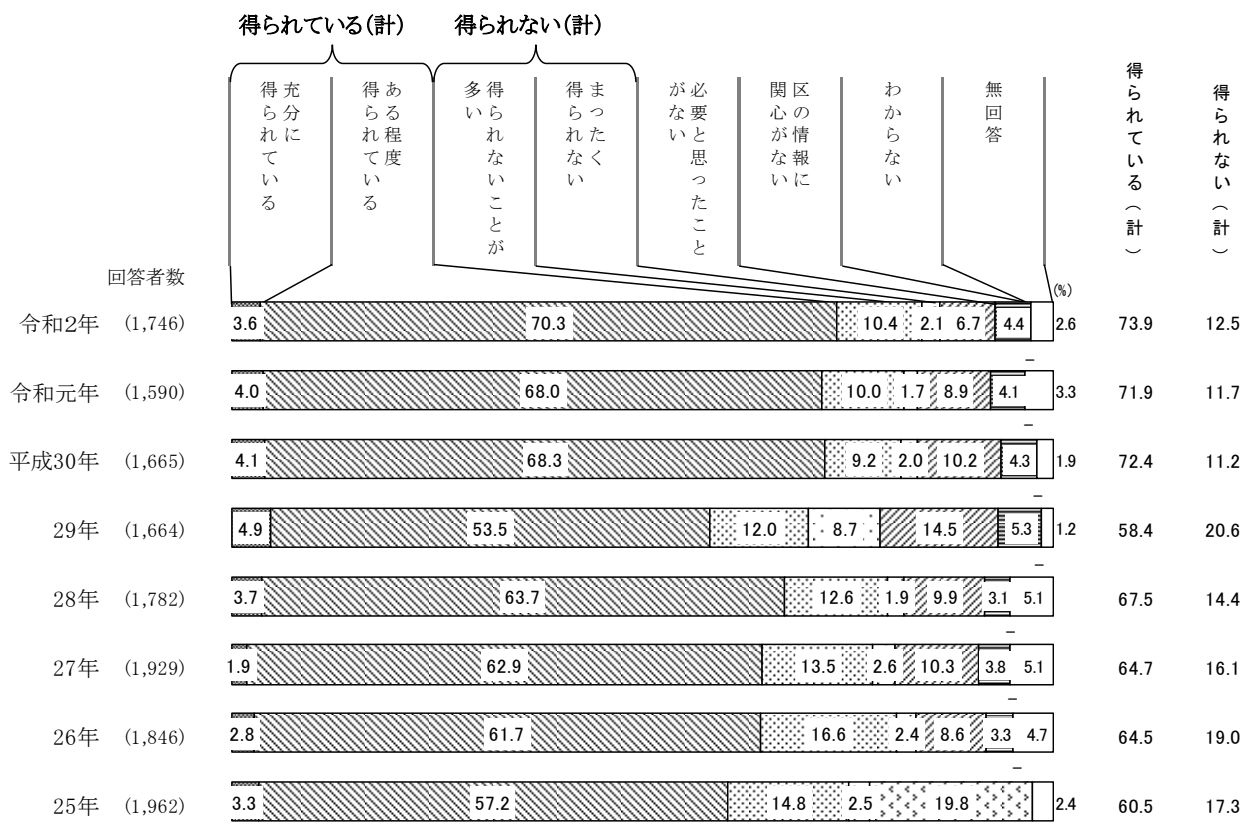


(3) 必要な時に必要とする区の情報入手状況

■ 必要なときに【得られている】は7割台半ばで、前回より微増

問16 あなたは、必要な時に必要とする区の情報を得られていますか（○は1つだけ）。

図4-3-1 経年比較／必要な時に必要とする区の情報入手状況



- ※ 「必要と思ったことがない」「区の情報に関心がない」は、平成26年度新設。
- ※ 「わからない」は、平成26年度から削除。
- ※ 平成29年度調査では、本設問の前の問である〈区の情報入手手段〉および〈必要とする区の情報〉を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

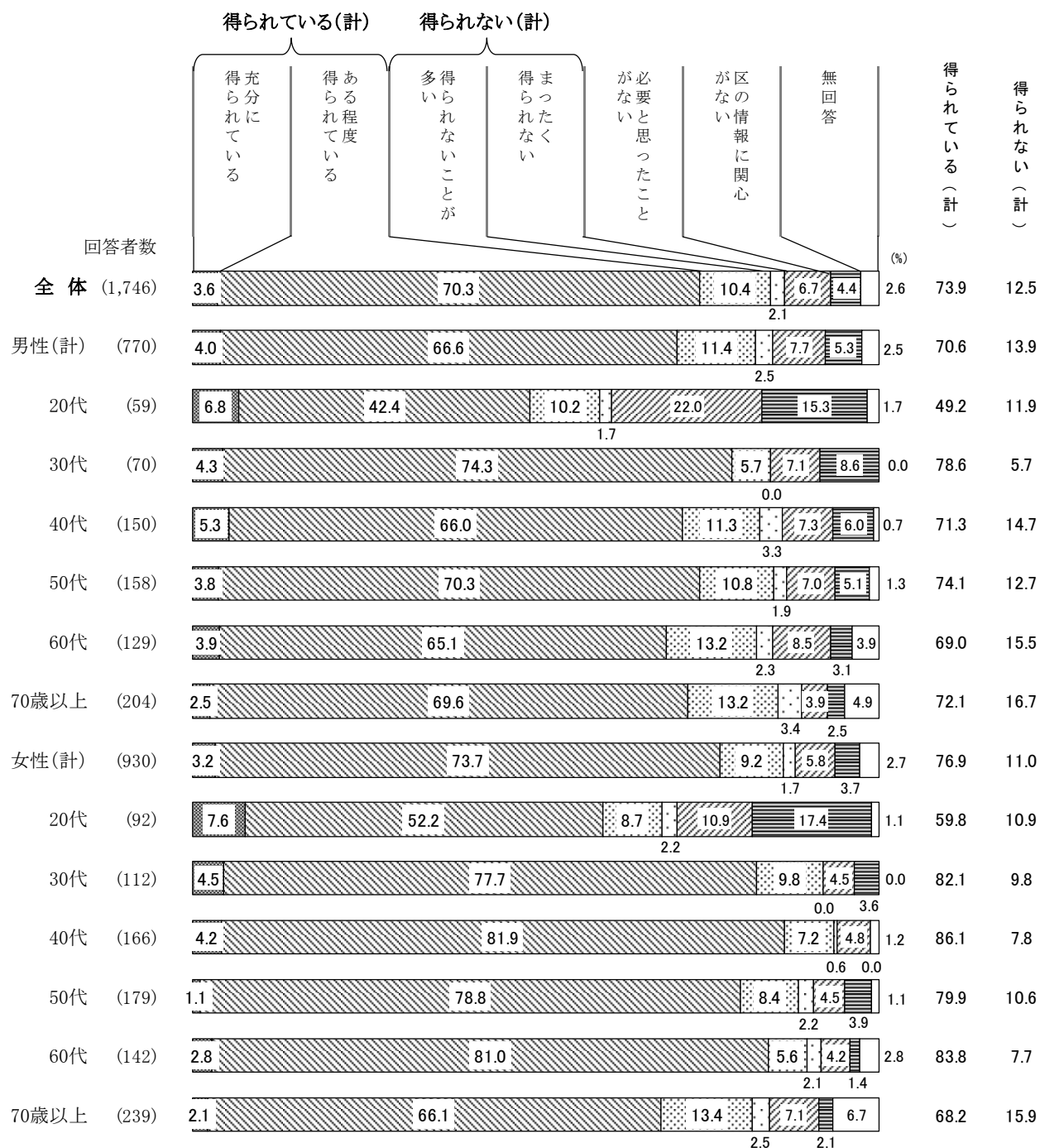
必要な時に必要とする情報を得られているかについては、「充分に得られている」が3.6%で、これに「ある程度得られている」の70.3%を合わせた【得られている】は73.9%となっている。一方、「得られないことが多い」は10.4%、「まったく得られない」は2.1%で、これらを合わせた【得られない】は12.5%となっている。

経年でみると、平成29年を除き平成25年から前回の平成30年まで漸増傾向を続けて、平成30年調査で7割を超えた【得られている】は、前回より2.0ポイント増加して今回73.9%と、平成25年以降で最も高くなっている。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

性別でみると、【得られている】は男性（70.6%）より女性（76.9%）の方が6.3ポイント高い。
 性・年代別でみると、【得られている】は、男性では30代（78.6%）で8割弱と最も高く、女性では40代（86.1%）で8割台半ばと最も高い一方で、「区の情報に関心がない」がともに1割台後半を占める20代男女で最も低くなっている。

図4-3-2 性別、性・年代別／必要な時に必要とする区の情報入手状況

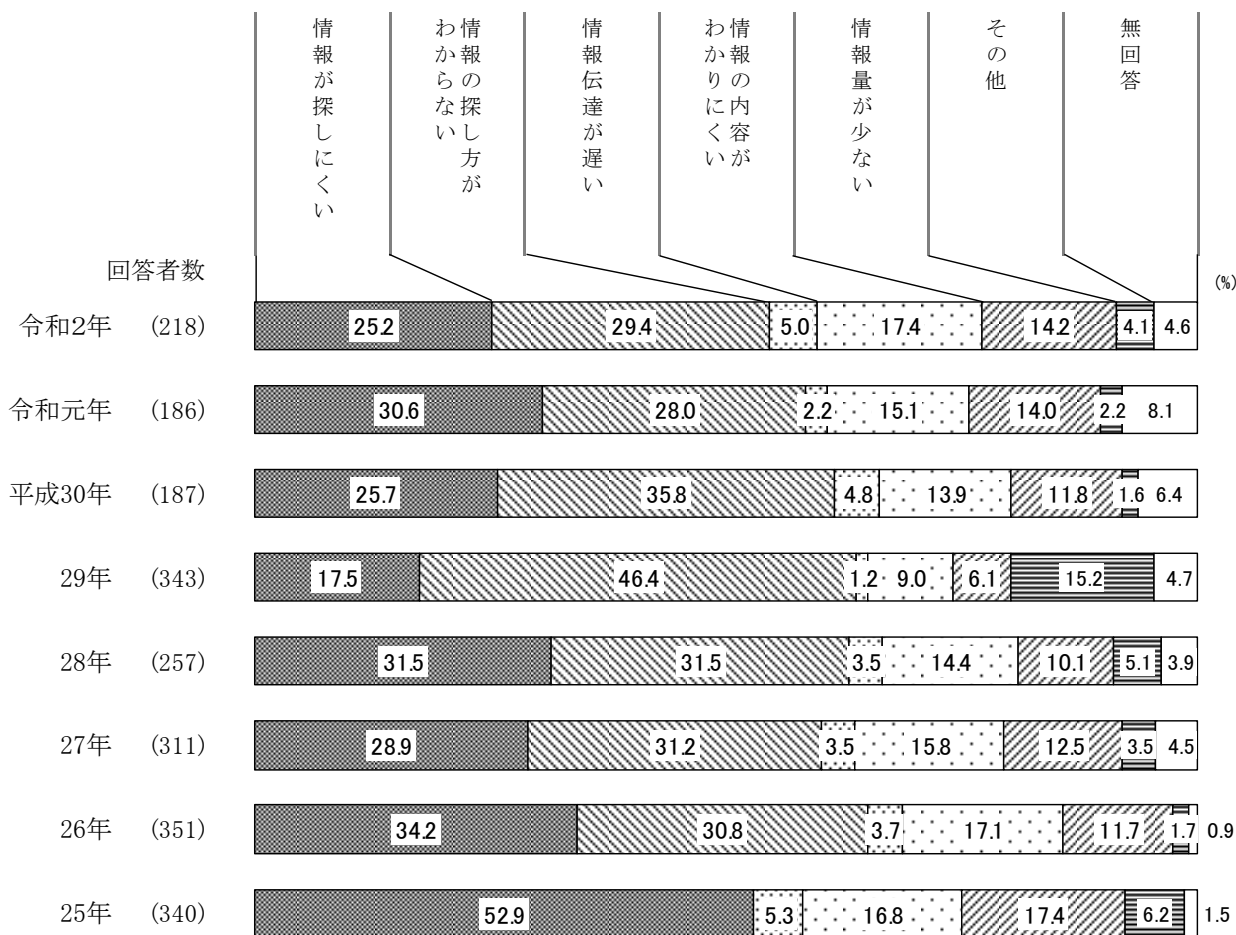


(4) 区の情報 that 得られない理由

■ “情報の探し方がわからない” が、約3割で最多に

問16で「3 得られないことが多い」、または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問16-1 主にどのような理由からですか (○は1つだけ)。

図4-4-1 経年比較/区の情報 that 得られない理由



※ 「情報の探し方がわからない」は、平成26年度新設。

※ 平成29年度調査では、本設問の前の問である〈区情報の入手手段〉および〈必要とする区情報〉を聴取していないため、経年比較では平成29年度の結果との比較は行わない。

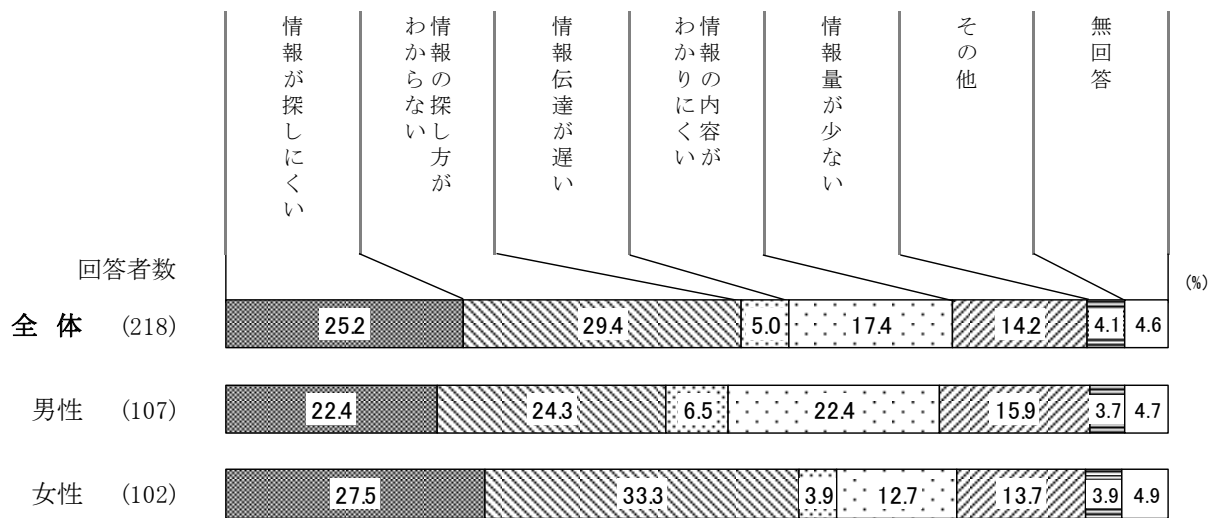
区情報が【得られない】という人に、その主な理由を単数回答で聞いたところ、「情報の探し方がわからない」が29.4%と最も多く、次いで「情報が探しにくい」が25.2%となっている。

経年でみて、前回の令和元年と今回の令和2年の結果を比較すると、前回には3割を超えていた「情報が探しにくい」が5.4ポイント減少して、前回より1.4ポイント増加した「情報の探し方がわからない」が2年ぶりに最多となっている。

第3章 調査結果の分析 〈 区の情報発信のあり方 〉

性別で見ると、「情報の探し方がわからない」は男性（24.3%）より女性（33.3%）の方が9.0ポイント高く、「情報が探しにくい」も男性（22.4%）より女性（27.5%）の方が5.1ポイント高くなっている一方で、「情報の内容がわかりにくい」は男性（22.4%）の方が女性（12.7%）より9.7ポイント高くなっている。

図4-4-2 性別／区の情報得不到理由



(5) 区の情報得られない理由の詳細

問16で「3 得られないことが多い」、または「4 まったく得られない」とお答えの方に
問16-2 問16-1の回答のように思われるのは、どうしてですか。理由をお書きください。

区の情報得られない理由として寄せられた自由回答の内容を「あだち広報」「区のホームページ」「その他」の3項目ごとに、主な要旨とその件数をまとめた結果は以下のようになっている。

あだち広報 (74名の回答)	件数
読みづらい、わかりづらいから	26
関心がない、見る機会が少ないから	21
内容が少ない、薄いから	13
発行回数が少ない、発行日等が分からない	2
その他	16

区ホームページ (66名の回答)	件数
探しにくい、わかりづらいから	26
見ない、あまり見ないから	18
パソコンを使わない、使えないから	11
情報が不足しているから	8
インターネットを使用できる環境がないから。インターネットは使わない	4
その他	5

その他 (21名の回答)	件数
情報をみつけれられない、入手方法がわからないから	5
放送が聞こえないから	4
インターネットで探しにくい、探せないから	1
その他	11

